

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福岡県 】

みやこ町立黒田小学校

1 実践テーマ	【I、IV】
2 実施対象者	みやこ町立黒田小学校 3・4年生（2クラス） 57名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（総合的な学習の時間） ② 行事名（黒田小学校こぶん祭り） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	<div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;">生涯にわたってスポーツに関わり続ける子どもの育成</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%; text-align: center;"> オリンピック・パラリンピックの意義を学ぶ (調べ学習) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%; text-align: center;"> 目標を持って粘り強く取り組む (中野選手の話) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%; text-align: center;"> 日本の伝統・郷土の文化を学ぶ (相撲大会) </div> </div>
5 取組内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> I スポーツ及びオリンピック・パラリンピックの意義や歴史に関する学び <3・4年生 総合的な学習の時間 「レッツ スタディ オリパラ」> </div> ○オリンピック・パラリンピックについての調べ活動（9月～11月） （3年生） <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピックの理念についての調べ学習 ・オリンピック競技種目やその内容についての調べ学習 ・オリンピックで活躍した日本人選手についての調べ学習 （4年生） <ul style="list-style-type: none"> ・パラリンピックの理念についての調べ学習 ・競技種目とルールについての調べ学習 ・競技者の思いや努力についての調べ学習 ○アテネオリンピック体操男子団体金メダリスト「中野大輔選手」の講演及び体操教室（10月25日） （講演内容） <ul style="list-style-type: none"> ・体操を始めたきっかけについて→姉の影響

- ・オリンピックに出たいと思ったきっかけについて→金メダリストとの出会い
- ・中学、高校、大学での努力や苦悩について→努力、不撓不屈
- ・日本代表選考会直前の骨折というアクシデントを乗り越え、夢をつかんだ瞬間の思いについて→周りの人への感謝
(体操教室)
- ・中野選手による「前転・後転・側転」の指導
- ・楽しく体操に親しむことの大切さについて



○「こふん祭り」での発表

11月5日(日)に開催された学校行事「こふん祭り」の際に3年生はオリンピックについて、4年生はパラリンピックについて自分たちの調べたことや中野選手から学んだことを黒田小学校全児童及び保護者、地域の方々に向けて発信しました。



<保護者や地域の人々の声>

オリンピックやパラリンピックのことについて、よく調べていて感心しました。特に、パラリンピックの理念や競技のルール、選手の思いについては初めて知ったことばかりでした。東京オリンピックは、パラリンピックを見て応援したいと思います。

IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成

<「こふん祭り」での相撲大会>

- ・相撲の歴史や重んじられている礼儀についての調べ学習
- ・地域指導者による事前の相撲指導(礼儀、基本動作等)
- ・予選会の開催
- ・「こふん祭り」での準決勝戦、決勝戦の開催(各学年別、男女別に行う。)
- ・地域の方からの表彰(優勝者及び準優勝者)



6 主な成果

- ・オリンピックやパラリンピックについて調べる活動を通して、子どもたちの興味や関心が高まった。

	<p style="text-align: center;">2020年東京オリンピック・パラリンピック を見たいと思うか。</p> <p>12月</p> <p>0 20 40 60 80 100</p> <p>■ 見たい ■ どちらかと言えば見たい ■ どちらかと言えば見たくない ■ 見たくない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べ活動や中野選手とのふれあいの中で、高い目標を持ち、粘り強くスポーツや学習に臨む子どもが増えてきた。 ・「こぶん祭り」での発表を通して、保護者や地域の方もオリンピック・パラリンピックの理念や競技内容についての理解が広がり、関心を高めることができた。 ・相撲についての調べ学習を行うことを通して、日本の伝統競技である「相撲」に子どもたちが真剣に取り組むようになり、文化を受け継いでいこうとする素地が養われた。
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>本校には20年前から土俵があり、今まで相撲に取り組んできた。しかしながら、学年が上がるにつれ、恥ずかしがったりし、真剣に取り組まない場面が見られた。今回「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」を受け、相撲の歴史について調べたり、全校集会の際に相撲に真剣に取り組むことが礼儀や粘り強さを養っていくことや伝統を守っていくことにつながることを伝えることで、全児童が真剣に取り組む姿へとつながっていった。また、地域の方々の支援や応援の輪が広がり、相撲の素晴らしさをみんな味わうことができた。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>今回は、事前に学習活動と関連付けながら講師を選定することが不十分であったために、事務局の方に講師を見つけていただいたり、連絡調整をしていただくことになり、多大なご迷惑をおかけした。学習活動を考える際に、ねらいを達成するためにどのような講師を呼べばより学習効果が上がるのかを綿密に計画を立てる必要がある。</p>
<p>9来年度以降 の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パラリンピックで調べた競技のうち、子どもたちが取り組みやすい競技を選び、講師を招聘して体育の学習の中で実際に取り組んでいきたい。そうすることで、よりパラリンピックに対する理解や関心が広がっていくのではないかと考える。 ・相撲についても今年度以上に学習を深めることで、より真剣に取り組んだり、日本の伝統を引き継ぎ、守っていったりする態度を育てていきたい。